

インフレ促進策としての消費税増税（要旨）

一橋大学国際・公共政策大学院 國枝繁樹

本稿においては、金融緩和策のみによるリフレ政策がもたらしうるリスクを示した後、金融緩和策と合わせ、社会保障と税制の一体改革で示された消費税増税を着実に実施し、財政再建を進めることが、悪いリフレを避け、良いリフレを実現するために不可欠であることを示す。そのために、まずデフレの弊害および金融政策によるデフレからの脱却方法とそれに伴う問題点、公共事業拡大を中心とした伝統的財政政策の問題点を指摘した後、Feldstein(2002)、Correia et. al (forthcoming)の提示した消費税の段階的増税および投資減税を含む非伝統的財政政策(unconventional fiscal policy)がインフレ実現と同様の効果を持つことを示す。さらに消費税増税が事実上の為替減価政策(fiscal devaluation)としても機能しうることを説明し、非伝統的財政政策の我が国の経済運営に対する含意を論じる。今後、日銀の積極的な金融緩和が「良いリフレ」となるよう、合わせて増税と歳出削減による財政再建を強力に進めていくことが強く求められる。